人穴小 学校だより

ふれあい

令和２年７月29日
富士宮市立人穴小学校
第４号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　**『自らをきたえ　共に生きる子』**

「新しい夏に挑戦」

校長　柏木　武文

梅雨明け宣言とともに夏空が広がってきました。例年ですと、夏休みになり、楽しいプランに胸をはずませて…という時期でしょう。今年度は、夏休みが大きく短縮され、子供たちにとっては、今までと違う夏に挑戦することとなります。「長い休みだからこそできることにじっくり取り組んで…」というのが例年の夏休みですが、今年は「長い休み」ではなくなりました。

では、どんな夏をめざしたらよいのでしょう。

まず、第一は「健康に過ごす夏」でしょう。コロナウイルス感染防止はもちろん十分に気をつけなければ行けませんが、熱中症、夏風邪、夏バテ…と、もともと夏の健康管理は難しいです。それに加え、８月の暑さの中での登下校、エアコンを使用した教室での授業、マスクの着用など、経験のないことが多く、今までにない疲れから体調を崩すことも考えられます。子供が自ら健康管理ができるようにしたいものです。学年に応じ指導していきます。とは言え、子供の判断だけでは困難、危険なことも多くあります。多くの大人の目で見守る視点で、ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

第二は「学習を充実させる夏」です。夏休みの９日間を除いて残りは登校日ですから通常の授業があります。４～５月に学習できなかった分をこの時期に、無理のないように計画しながら取り戻していきます。６月１日に学校再開してからの学習リズムを、夏の間も継続していくことが大切になります。学校での授業の時間だけでなく、家庭学習の習慣も大切にしてほしいです。長い休みの学習を自分で計画的に…という側面はやや少なくなってしまいます。

そこで、第三は「自ら挑戦する夏」を挙げたいと思います。長い夏休みの取り組みを自分で計画したり、自分で選んだ課題に計画的に取り組んだりする力をつけることは、子供たちにはとても大切なことです。今まで夏休みに育んでいた力の一つでした。今年は夏休みが短いので、夏休みとしての課題は少なくなり選択の幅が広がっています。しかし、夏だからできることには、諦めずに挑戦してほしいです。「毎年、絵画コンクールに応募していた。」「〇〇の研究を続けてやっていた。」「〇〇に挑戦していた。」などを、コロナを理由に簡単にあきらめないでほしいと思います。もちろんできる範囲でかまわないので、自分なりに目標を決めて挑戦する夏にしてほしいと思います。

「新しい生活様式」を実践しながら過ごす「新しい夏」に挑戦する、たくましい子供たちの姿を期待しています。

学校教育活動に関する保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。いくつかの学校行事や授業参観、ＰＴＡ活動などが実施できない中でのアンケートでしたので、答えにくいところもあったと思います。また、新型コロナウイルス感染防止対策についても貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。皆様からのご意見は今後の人穴小学校の教育計画を見直す上で役立てていきます。

今年度は、学校に集まっていただくことが困難な状況が続いているため、学校での様子を皆様に伝える手立てとして、学校ホームページの活用を増やしていきます。学校からのお知らせや、活動の様子のブログなど、ときどきチェックをお願いします。ホームページはパソコンを使わなくてもスマホからも簡単にアクセスすることができます。ホームページへの返信はできませんが、みなさんの感想を「いいね！」に反映することはできます。是非お試しください。